

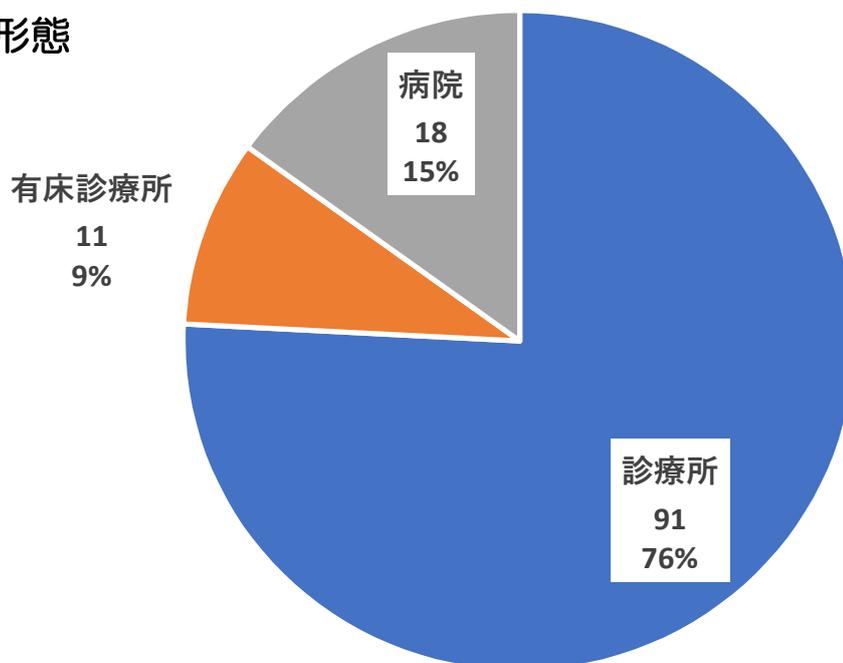
# 医薬品の入手に関する『緊急アンケート』結果

対 象 FAX登録がある医科会員(782医療機関)

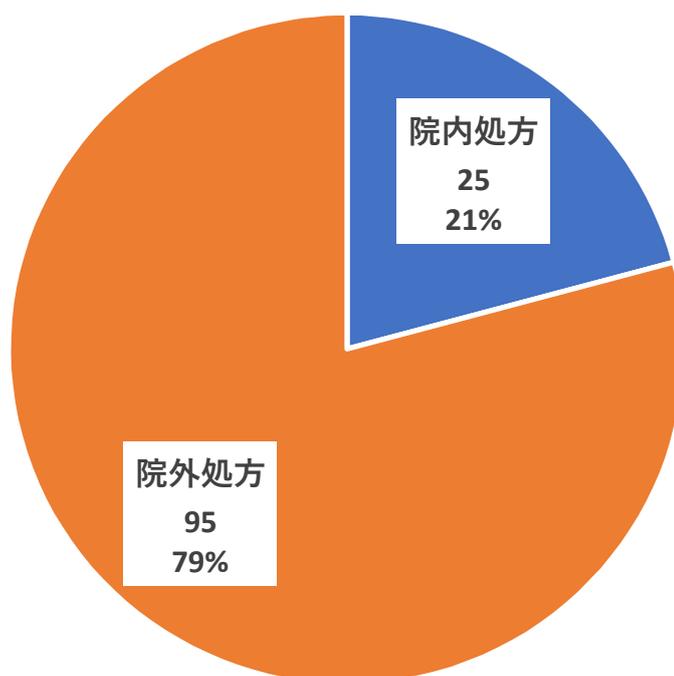
実 施 2025年1月14日(火)~1月20日(火)

回 収 120医療機関(回答率15.3%)

## 1. 医療形態



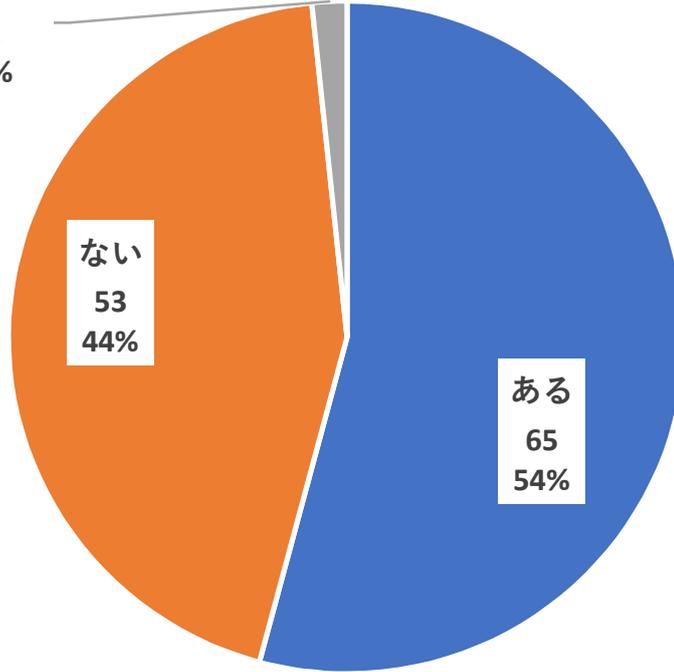
## 2. 処方形態



### 3. 入手困難な抗インフルエンザ薬の有無

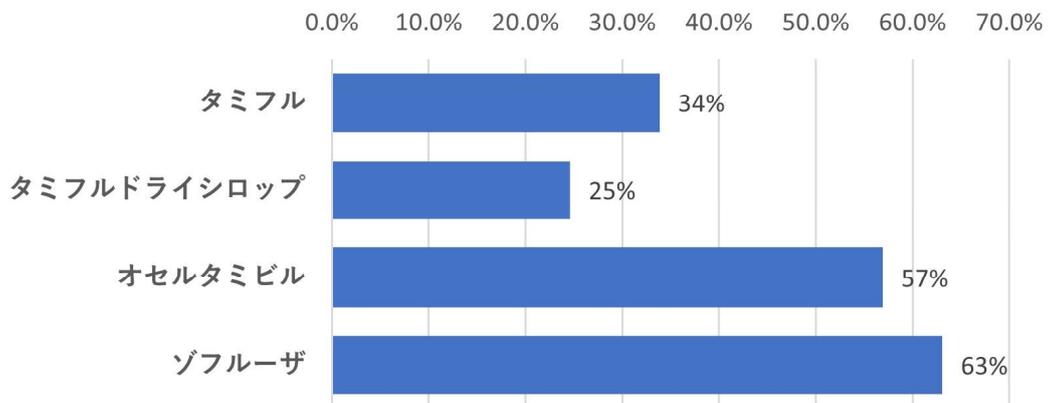
無回答

2  
2%

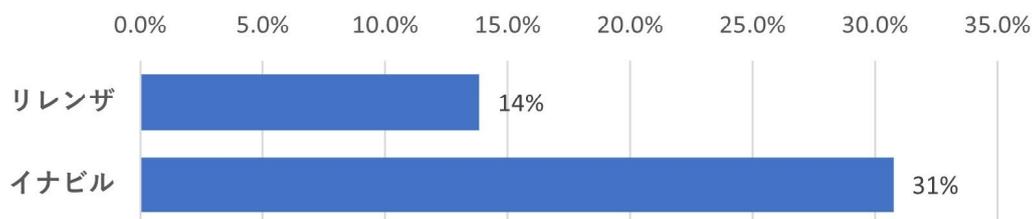


◎入手困難な薬剤が「ある」との回答の中での薬剤の割合（複数回答）

#### 【内服薬】

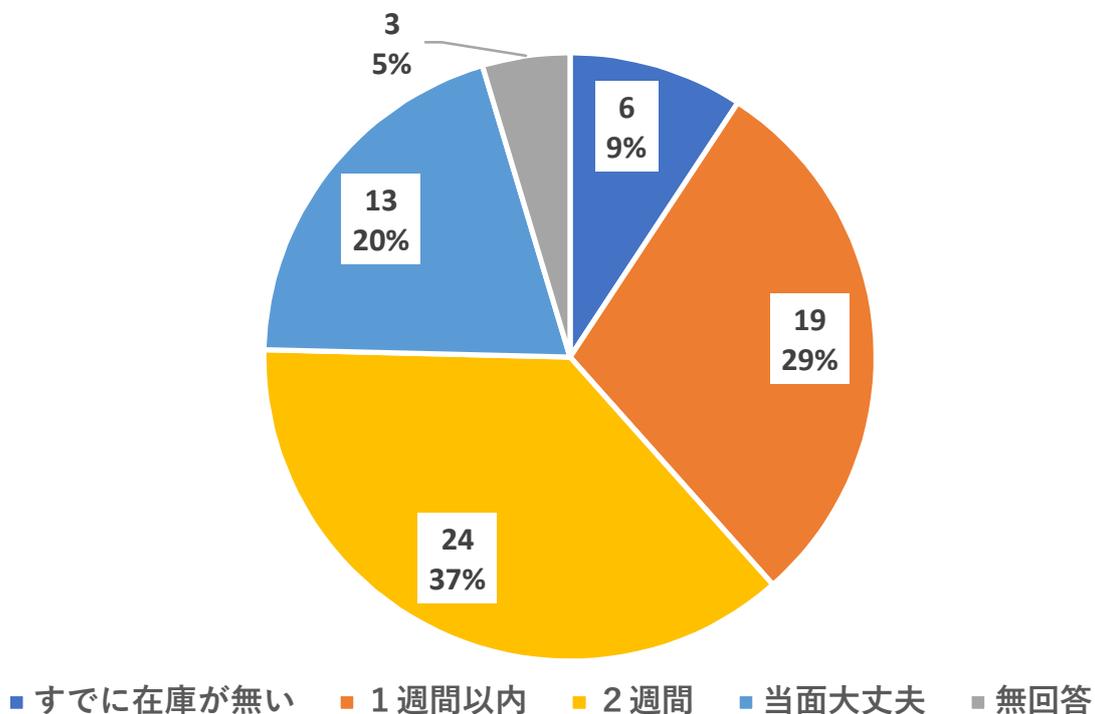


#### 【吸入薬】

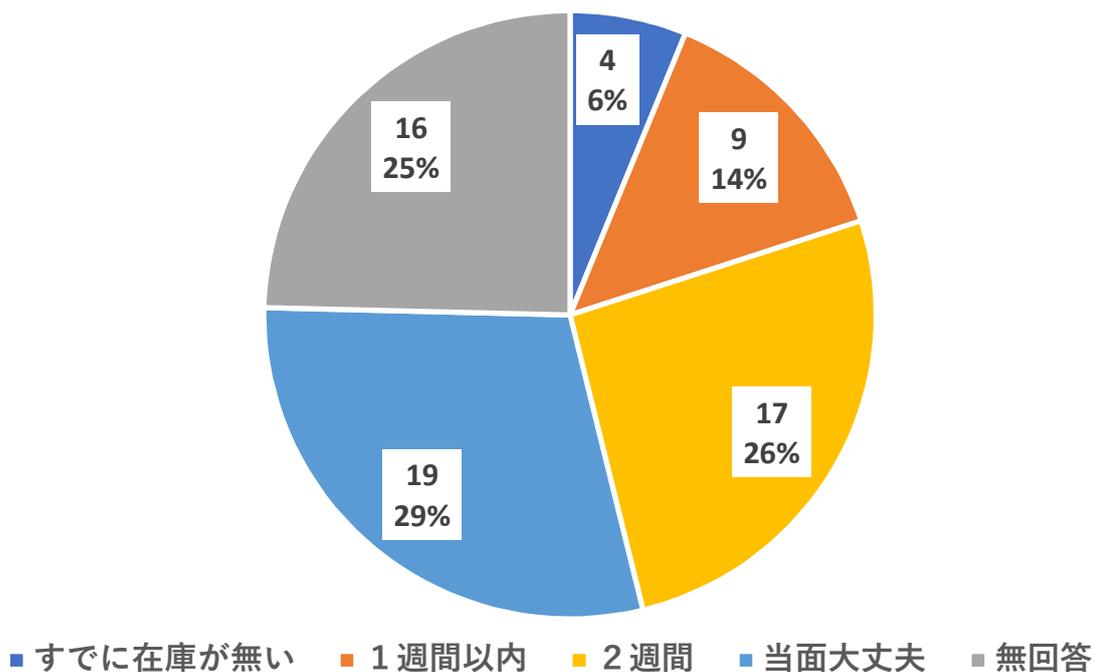


#### 4. 入手困難な薬剤が「ある」との回答の中で、現在の流行が続いた場合の抗インフルエンザ薬の在庫期間

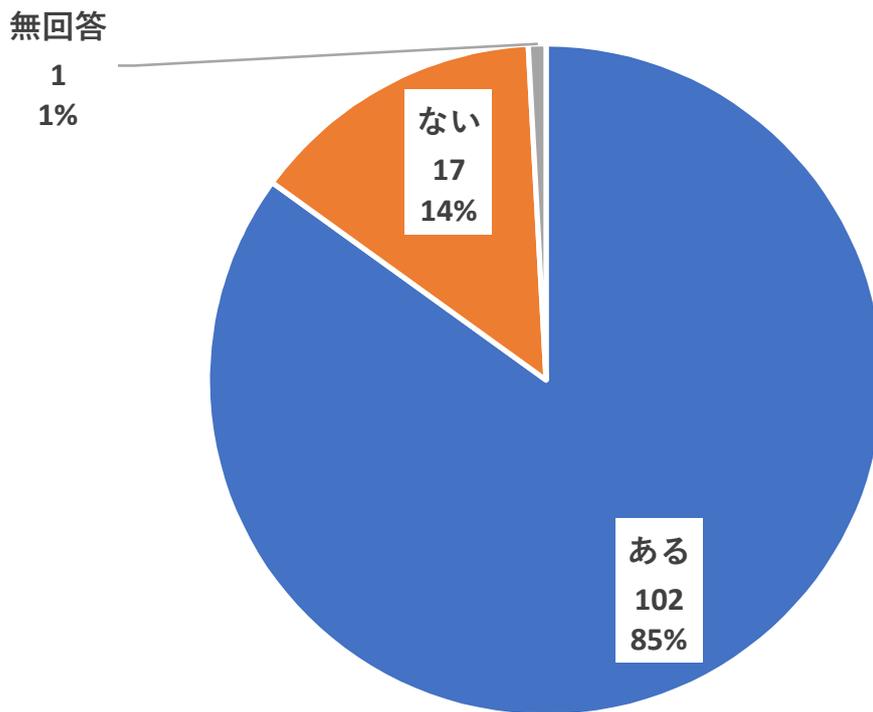
【内服薬】



【吸入薬】

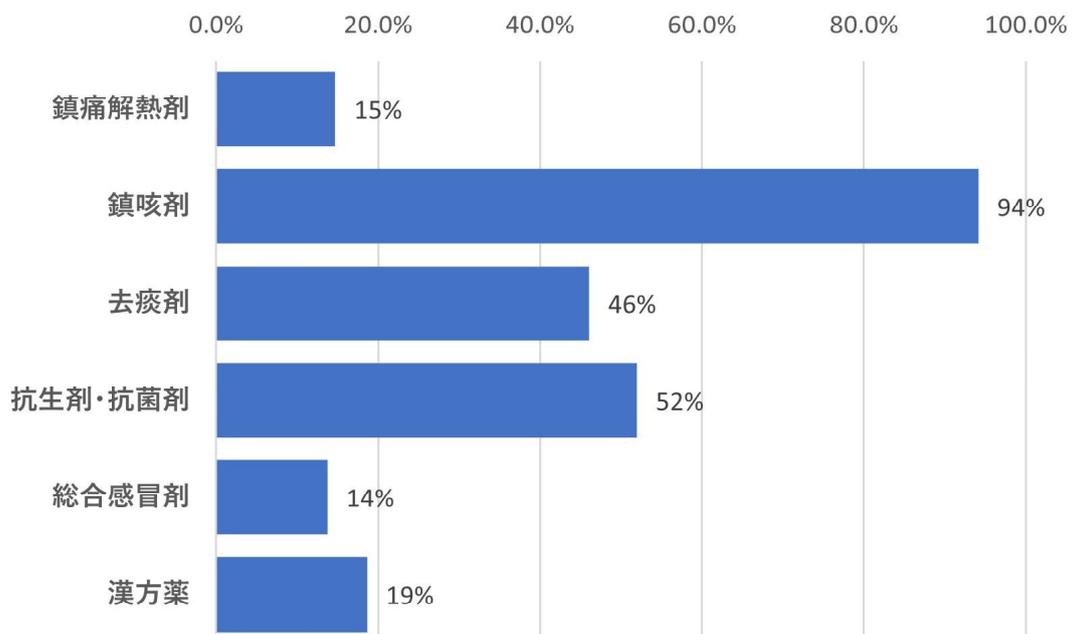


## 5. 入手困難な抗インフルエンザ薬以外の薬剤の有無

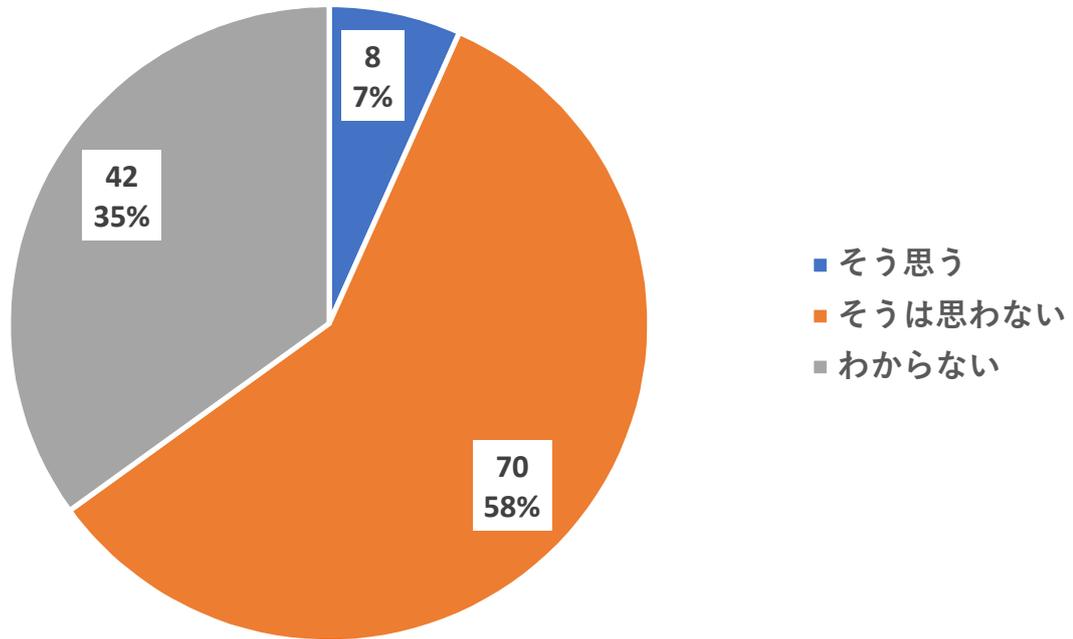


◎入手困難な薬剤が「ある」との回答の中での薬剤の割合（複数回答）

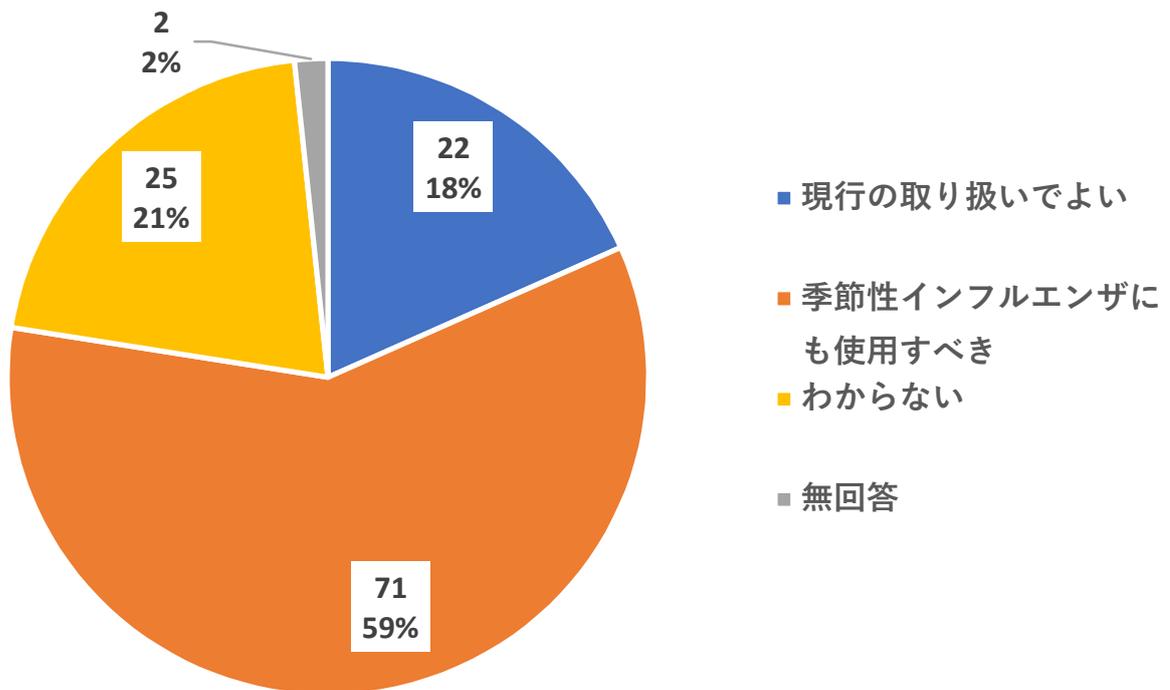
### 【入手困難な薬剤】



6. 医療機関の過剰発注が抗インフルエンザ薬の不足の原因の一つとされていることについて



7. 抗インフルエンザ薬の行政備蓄が季節性インフルエンザに使用できないことについて



## ◎インフルエンザ薬の入手困難によって、診療に影響を来した例

- ・年末の12/30診療したが、薬局休みのため、抗インフルエンザ薬が足りなくなった。
- ・イナビルも欠品あり
- ・院外処方のため、在庫をもっている薬局をさがして対応している。
- ・現時点では影響していないが、2/11に休日当番医を控えており不安です。
- ・院外処方では影響がみられるが、院内処方ではあまり影響がみられていない。
- ・他院でのインフルエンザ診断で処方ほとんどされず、咳止め中心に薬が切れて苦しいと  
いって来院される患者さんの対処に困っている。
- ・現時点では在庫有り、1週間程の在庫。
- ・当番医の日に薬剤が入手できているか、予測ができない
- ・残庫がなくなり電話での受診依頼をことわったことがあった
- ・ギリギリの状態です。
- ・院外処方のイナビルは、入手困難です。
- ・ゾフルーザも10mg錠で処方したり、イナビルを処方したりしている。

## ◎医薬品の供給体制に関して、ご意見をお聞かせください。

- ・厚労省がむやみに薬価を切り下げて薬剤をつくれれば赤字になるようにしたから。もしくは利益がほとんど無いようにしたから。
- ・発熱外来をしていないので詳細はよくわかりません。
- ・後発品の会社を優遇するため今の事態になった。ジェネリックを廃止すべき。
- ・国の異常な薬価切り下げ
- ・国が必要に応じて、備蓄等を使うのは当然。それがパンデミック予防策。
- ・抗インフルエンザ薬に限らず、すべての薬が安定供給されるように何か対策をしてほしい。
- ・当番医時の検査キットと薬を備蓄してほしい。大きい医療機関は大丈夫だろうと思いますが、小さい医院は大変です。
- ・ジェネリックを推奨した国の罪だと思います。
- ・アスベリン、ムコダイン(カルボシステイン)など入手困難でどうにかこれを改善してほしい  
です。
- ・日本医師会、薬剤師会がもっと国、県、市等の行政機関への普段からの働きかけが足りない  
と考える。一層の努力を求める。
- ・今回は想像を超えて感染拡大が起きたので、在庫が足りなくなる直前でした。今は少し落  
ち着いたのでよかったですですが安心できない。全体的に足りていないようなので、来年からは  
多めに供給してほしいです。
- ・キシロカイン1%、1週間手に入らず。外科なのに外傷に対応できない。
- ・出荷調整対象薬が非常に多い。キシロカイン等治療使用薬剤の入荷未定は死活問題。メー  
カー自体の説明は、紙媒体のみが非常に多い
- ・医薬品が供給等、現在のような不安定な常態が続くなら、安心して診療が続けられない

し、患者さんも安心して受診できなくなる。ジェネリック医薬品の供給体制を再考すべきです。

- ・インフルエンザの薬だけでなく、ステロイドの注射薬(デキサート)や気切が入手困難だったり、出荷規制が多くて困っている。
- ・常軌を逸した医療費抑制政策の結果。
- ・日常診療に直結するものであり、何とか改善してほしい。
- ・最近、出荷調整する機会が多く、非常に不便。
- ・発熱外来診療をまじめにすればする程、処方すべき薬剤が入手できず、患者さんにおわびしながら少な目に処方している。クレームが多い。タミフルに関しては、他院では2~3日分の処方をしている所があるが、耐性ウィルスの存在を考えると、5日分処方せざるを得ない。処方薬はすべて飲みきる様に指導している。備蓄薬の放出が必要と考える。
- ・全体的に後発医薬品の供給体制がおかしい。
- ・実際供給制限がかかるのでどうしようもないです。  
院外処方です時々薬局の状況を聞いています。やはりタミフルは入手困難のようです。
- ・医薬品不足が続いている。解決してほしい
- ・生産が1社に限られるのは良くない
- ・賛否のある話とは思いますが、そもそも調剤薬局が多く、その調剤薬局に薬が分配されているので供給不足になりやすいのではないのでしょうか。風邪薬として処方されるような薬は「院内調剤」で対応すると、病院内のみに薬が集約されて供給が安定しやすいのではないかと思います。院内調剤にすると国の医療費削減にもつながります。試算してもいいかもしれません。
- ・薬価を下げすぎて、製造中止するメーカーが増えて、残ったメーカーの薬に発注が集中し、限定出荷となるケースが多いように思う。もう少し現場の状況に沿った施策がとれないものだろうか。
- ・鎮咳剤、解熱剤、抗生剤、抗ヒスタミン剤不足が慢性化していて改善の見込みがない
- ・調剤薬局と医薬品卸と協力して、在庫を確保しています。今後、更に入手困難になることを大変心配しています。
- ・あまりにも多くの医薬品の供給が不安定で、薬物治療に影響がでている状況を早く改善してもらいたい。
- ・発熱外来患者が多い施設には優先的に回してほしい。